

## 今号の読みどころ

議員団レポート…(日立市、北茨城市、かすみがうら市、横浜市、静岡市)  
幹事長の主張…自分たちの活動を見直し地道な活動展開/当選御礼  
大島衆議院議員・国政レポート…民主党の信頼回復に全力で取り組む

P 2~4

P 4

## 大島衆議院議員・国政レポート



科学技術の会  
共同代表挨拶

豪雨被害のあった  
山口・島根を視察



日立グループ議員団会長 衆議院議員 大島 章宏

## 「石上としお」さんが当選するも 民主党は大惨敗

日立グループ連合の皆さん、議員団の皆さん、日頃より多大なるご支援を賜り御礼申し上げます。去る7月21日投開票の第23回参議院選挙に際しましては、民主党にとって大変厳しい情勢下での選挙ではありましたが、皆さんの懸命なご支援とご協力を頂きまして、電機連合組織内候補の「石上としお」さんが、全国比例候補として当選を果たすことができました。本当にありがとうございました。

しかし、ご存じのとおり民主党は17議席を確保するに留まり大惨敗という結果となりました。組合員の皆さんからも民主党に対する厳しいご意見を頂いておりましたので、厳しい結果は想定しておりましたが、この現実を真摯に受け止め、党改革を進めなければなりません。

## 幹事長として民主党改革に取り組む

この厳しい情勢の下、突然の細野幹事長辞任表明があり、急速、海江田代表から幹事長就任への要請を受け、これを覚悟をもってお受けすることを決意し、7月26日(金)の民主党両院議員総会において承認を賜りました。昨年末の総選挙で大敗した後、先頭に立って党改革を実行してきた海江田代表を支え、6月の東京都議選、7月の参議院選挙を戦いま

したが、当初から予測されていた以上に厳しい結果となりました。

しかし、なんとしても、日本の未来に対する責任を果たすことが出来るよう党改革を成し遂げなければなりません。私は、1990年に衆議院初当選以来今日までの23年間の政治経験の全てをこの幹事長職に注ぎ、民主党結党の原点に立ち返り、国民の皆さんから信頼を頂ける民主党となるよう改革を進め、日本国にとって責任ある政治を実現することが出来るよう全力で取り組んでいく所存です。

## 民主党一丸となって改革を断行していく

まず、8月5日(月)～9日(金)全国各ブロック別幹事長会議を実施し、参議院選挙や民主党再生に向けた意見・要望を拝聴しました。さらに、8月22日(木)に全国幹事長会議を開催し、東京都議選、参議院選挙を含めた総括を行なうための議論を行ない、同時に、前参議院の皆さんからも意見聴取することしております。

政権を担った政党としての誇りを忘れず、与党に対して堂々と是々非々で政策を提言し、国民の皆さんからの負託を得られるように努力をし、党綱領の理念の下に、民主党一丸となって改革を断行していきます。

真面目に働く者が報われる公正な社会をめざし全力で取り組んで参りますので、今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 市政だより

## 静岡プレゼンスの強化

6月定例会議で総括質問を行なう



## 「オール静岡」をめざして

鈴木 直明  
静岡市議会(日立AP/空調支部)



ん」を題材にした歌と踊り、「まるちゃんの静岡音頭」が制作されました。作詞は原作者のさくらももこさん(旧清水市出身)、作曲は元YMOの細野晴臣さん、踊りの振付けにパパイヤ鈴木さんと本当に個性あふれるメンバーでの楽曲です。

この楽曲をきっかけとし、「静岡プレゼンスの強化」を図りながら「オール静岡」としての醸成を図るべきだと、6月定例会議の場で初の総括質問を行ないました。

私は地方議員として、国政の制度とは異なる二元代表制の意義をふまえ、議員に課せられた、市政のチェック機能、政策提言、議会改革の責務を果たすべく、市民との対話を大切に、何よりも子どもたちの未来のために積極的に行動していきます。

本年、静岡市は旧静岡市と旧清水市が合併して10年を迎えます。この間、平成の大合併により、旧蒲原町に続き旧由比町も合併し「政令指定都市」が誕生しましたが、2市2町がそれぞれに受け継がれてきた伝統や文化の違いがあり、まだまだ「オール静岡」として一体感の醸成がなされていないのが現状です。

そのような中、すでに全国区となっている「ちびまる子ちゃん

後の民主党再生に向けて、ご尽力を頂きたいと思えます。

## 政治活動の必要性を知ってもらう

この状況の中で、私たち組織内議員はどのような活動をすればよいのかであります。

今後3年間は、国政選挙がありません。この期間を利用し、自分たちの活動内容の見直しを行ない、少しでも多くの方々に理解して頂ける地道な活動を展開する以外にないのではないのでしょうか。

併せて、組合と連携して各級選挙の大切さや政治活動の必要性についても知ってもらう活動を展開すべきと考えます。

## 安来市議会議員選挙へのご支援を

10月に、安来市議会議員選挙が行なわれます。田淵秀喜氏と新人の澤田秀夫氏(いずれも日立金属労組安来支部)が、挑戦します。温かいご支援をよろしくお願い致します。

今回の総会で、静岡市議会議員の田中敬五氏と茂原市議会議員の関好治氏が退任されました。永年のご労苦に心から感謝を申し上げます。



日立グループ議員団幹事長  
栃木市議会(日立AP/栃木支部)  
千葉 正弘

自分たちの  
活動を見直し  
地道な活動展開

先般、日立グループ議員団総会を開催致しました。一年間の活動の総括と次年度の活動方針を確認させて頂きました。参議院議員選挙期間中の開催であることから、総会のみ1日開催としました。

直近の最大最重要課題は、参議院議員選挙の電機連合組織内候補である「石上としお」氏の当選に向けた取り組みの再確認と最後のお願ひでありました。

## 「石上としお」氏 初当選に感謝

多くの組合員とご家族の皆さん、各組合の執行委員の皆さん、当会員を含む多くの方々のご支援により、「石上としお」氏が初当選を果たすことが出来ました。ご支援・ご協力に感謝を申し上げます。

参議院議員選挙の結果は、「石上としお」氏は当選することが出来ましたが、民主党としては大敗を喫する結果となってしまいました。

## 大島章宏会長が、党幹事長に就任

この民主党の危機的状況の中で、大島会長が、民主党の幹事長に就任しました。

大変難しく混乱している状況の中ですが、今



当選御礼

ご支援ありがとうございました

電機連合  
組織内議員  
石上としお

ご支援よろしく  
お願いします

澤田 秀夫  
(日立金属/安来支部)

田淵 秀喜  
(日立金属/安来支部)

安来市議会  
選挙立候補者

市政だより

新中央体育館建設整備事業



大庭 弘美

日立市議会 (日立金属/日高支部)

震災復興のシンボルと  
広域交流拠点  
施設をめざして

昭和49年の茨城国体開催に向けて建設された日立市中央体育館は、建設から39年が経過し、施設の老朽化が目立ち、国、県レベルの大会誘致が厳しい状況となっている中、東日本大震災では大屋根を支える柱や壁の損壊など被害は甚大で、使用出来ない状態となりました。加えて、市の地域防災計画に位置付けられた避難所としての機能を果たすことが出来ない課題を残しました。

日立市は平成23年9月に策定した「日立市復興計画」の中で、これからの市民スポーツ活動の推進や災害時の市民の安全な避難場所としての中央体育館の復旧は急務として「日立市新体育館建設整備基本計画」を策定、改築事業の推進と早急な整備を行なうこととしました。

新体育館は、震災復興のシンボルとしての施設、また、市民の誰もがスポーツ・レクリエーション活動に親しむことが出来る市民のスポーツの中心施設であるとともに、全国大会や関東大会等のスポーツ大会のほか、コンサート等の文化イベントを開催出来る広域交流拠点施設と位置付け、平成31年の茨城国体の開催を視野に、現在工事が進められています。



体育館配置計画図

主要施設概要

**メインアリーナ**：バスケットボールコート3面規模、文化イベント開催可、観客席約3,000席（1階：可動席1,500、2階：固定席1,500）

**サブアリーナ**：地域体育館としての役割を担う施設、バスケットボールコート1面規模

**武道場（多目的室）**：武道のほかエアロビ、ダンス等の軽スポーツ利用へ対応、柔道場又は剣道場2面規模

**弓道場**：近的（28m）6人立

**トレーニング室**：マシントレーニングが可能

**会議室**：約50人収容（2分割可）、約20人収容

完成予定

平成27年度末（平成28年3月）完成予定

配置計画

運動公園内 上記体育館配置計画図参照

皆さんの期待に応えます

市政だより

JR 神立駅周辺整理事業



事業計画の  
遂行に取組む

川村 成二

かすみがうら市議会 (日立建機/土浦支部)

かすみがうら市の中心部に位置するJR神立駅は、乗降客数は約11,000人/日と多くの人々が利用していますが、駅前広場や駅前道路は狭く、駅構内はバリアフリー化されていないなど以前から改善を指摘する声が多いものの、土浦市との行政界にあり2市にかかわる課題であることから長く進展が見られない状況でした。

こうした課題を解決するため、かすみがうら市と土浦市は「土浦・かすみがうら土地区画整理一部事務組合」を平成23年1月に設立し、神立駅西口地区整備事業計画については平成24年11月に茨城県知事より事業認可を受け、現在本格的に推進されています。

また、関連事業として、駅舎橋上化整備、駅東西自由通路整備、駅東口歩行者専用道路整備も計画されており、さらには神立駅から、かすみがうら市内を通り国道6号線へ繋がる神立停



駅舎の橋上化が計画される  
JR神立駅



整備が待たれる  
JR神立駅広場

車場線の道路整備もかすみがうら市で事業計画されました。かすみがうら市の鉄道(JR)の玄関口が大規模整備されることにより、住みたい街としての魅力度がアップし人口増にも繋がることから、遅滞無く事業を遂行しなくてはなりません。一部事務組合の議員として今後も積極的に取組みます。

医師の集まる自治体病院

市政だより

医師の集まる自治体病院について  
講演を聞く



生き残るための  
病院経営について  
考える



西野 英夫

北茨城市議会 (日立/日立支部)

北茨城市は市立病院事業に平成17年以降、約6から9億円強を一般会計より連続で繰入しています。本年度の新規事業（67億円）で、新市立病院を建設し、来年度開院をめざしています。しかし、医師確保の明確な見通しは未だ立っていません。そこで、「医師の集まる自治体病院」みやぎ県南中核病院長：内藤広郎氏の講演を受講しました。全国自治体病院協議会の調査報告によると病床数300床の病院が医師の集まるボーダーラインということです。北茨城市の新病院は160床で、必死に頑張っても医師確保に苦勞するレベルとの指摘を受けました。解決策の一つとして、水戸共同病院あるいは県立中央病院と連携

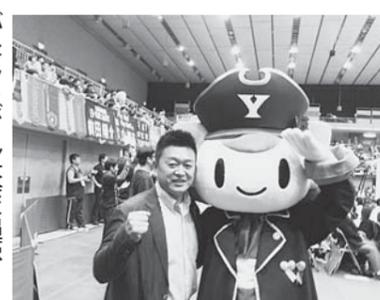
し、研修協力病院の指定を受ける取り組みを進めてはどうかという助言をいただいたので、本市の院長に提言していきます。ちなみに、みやぎ県南中核病院の医師数は、開院当初常勤21人が現在では60人に増加した実績があります。その推進力は、内藤院長のぶれない理念とそれを着実に進めてきた実行力にほかならないと言えます。

そこで、私が委員長を務める病院経営検討特別委員会で、新市民病院の役割、運営・経営方針及び中長期計画等について、市立病院長の考えを伺い、我々委員会が院長の考えを支援出来る体制を整えていきたいと考えています。

地域に密着した活動

市政だより

バスケットボール大会に出席  
地域の皆さんの声を聞く



370万市民の  
安全・安心に努める



坂本 勝司

横浜市議会 (日立/戸塚支部)

横浜市議員となり早2年が経過し、4年任期の折り返しを過ぎました。私たち地方議員は、地域の皆さんのご意見・ご要望をお聞きし、それぞれの行政がより安全で安心な街となる様に地域密着の活動を行なうのが仕事です。ただ、地方では処理出来ない問題などは国政とのパイプが重要な役割を果たし、国・県・市のパイプが繋がっているか否かで、改善のスピード感なども違うのが今の仕組みです。

今回の参議院選挙では、正にそのパイプをより太く出来るかの闘いでしたが、厳しい闘いの中、見事に「石上としお」氏が初当選を果たされました。今後は、解散が無く6年間の任期を

確りと使うことが出来る立場ですので、ご自身の政策と我々地方議員の声を聞いていただき、働く者が報われる社会の実現に向け、改善を進めていただければと思います。

私たち地方議員は、皆さんの生の声を聞くために、夏祭り・秋祭りを含めたお祭り関係の会場や、レクリエーション大会などを開催している会場、スポーツ公園や防災拠点、敬老会や様々な同好会などにも立ち寄り、皆さんの声を聞いております。370万市民の安全・安心に努め、笑顔多い横浜市となる様活動して参ります。